PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY

(Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference PCT2004-05	FOR FURTHER ACTION	See item 4 below		
International application No. PCT/JP2004/016828	International filing date (day/month/year) 12 November 2004 (12.11.2004)	Priority date (day/month/year) 18 November 2003 (18.11.2003)		
International Patent Classification (8th See relevant information in Form F	h edition unless older edition indicated) PCT/ISA/237			
Applicant Minowa Koa Inc.				

1.	This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis.1(a).				
2.	This REPORT consists of a total	of 4 sheets, including this co	ver sheet.		
	In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.				
3.	3. This report contains indications relating to the following items:				
	Box No. I Basis of the report				
	Box No. II	Box No. II Priority			
	Box No. III	Box No. III Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability Box No. IV Lack of unity of invention			
	Box No. IV				
	Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement			
	Box No. VI	Certain documents cited			
	Box No. VII	Certain defects in the international application			
	Box No. VIII	Certain observations on the international application			
4.	4. The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis.2).				
			Date of issuance of this report 22 May 2006 (22.05.2006)		
	The International Burea		Authorized officer		
34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland			Yoshiko Kuwahara		
Facsimile No. +41 22 740 14 35			Telephone No. +41 22 338 90 90		

Form PCT/IB/373 (January 2004)

恐信人	日太阳奘鲜宁	(国際調査機関)
2001BLA		(CEL DAVINA TEL DAVINA

発信人 日本国特許庁 (国際調金機関) 	REC'D 17 FEB 2005			
出願人代理人	WIPO PCT			
箕輪與亜株式会社 開発グループ 様				
あて名	PCT			
〒 399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中、箕、韓一4016番90号	国際調査機関の見解書 (法施行規則第40条の2) [PCT規則43の2.1]			
	発送日 (日.月.年) 15. 2. 2005			
出願人又は代理人 の書類記号 PCT2004-05	今後の手続きについては、下記2を参照すること。			
国際出願番号 PCT/JP2004/016828 国際出願日 (日.月.年) 12.	優先日 11.2004 (日.月.年) 18.11.2003			
国際特許分類 (IPC) Int. Cl. 7 H01C	7/00			
出願人 (氏名又は名称) 箕輪與亜株式会社				
1. この見解書は次の内容を含む。	る新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、			
際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基ついない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この	調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国 て国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさ 見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。			
この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書と ら3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了す な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができ	みなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日かる期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当る。			
さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照	すること。			
3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を	お照すること。			
見解書を作成した日 02.02.2005				
名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官(権限のある職員) 重田 尚郎 電話番号 03-3581-1101 内線 3565			

様式PCT/ISA/237 (表紙) (2004年1月)

				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
	見解の基礎							
1. 50	の見解むは、	下記に示す	す場合を除くほか、	、国際出願の	言語を基礎として作	作成された。		
	この見解書はそれは国際調	t、 関査のため	語)に提出された P C	による翻訳文 ア規則12.3万	を基礎として作成) とび23.1(b)にいう	した。 開訳文の言語であ	る。 ·	
2. こ 以	の国際出願で 下に基づき見	開示され 解告を作	かつ簡求の範囲に 成した。	係る発明に不	可欠なヌクレオチ	ド又はアミノ酸配	列に関して、	
a.	タイプ		配列表					
	•		配列表に関連する	るテーブル	•		•	
ъ.	フォーマット		書面					
			コンピュータ読	み取り可能な	形式	ć	4	٠٠.
c.	提出時期		出願時の国際出	願に含まれる				
	•		この国際出願と	共にコンピュ	ータ読み取り可能	な形式により提出	された	
			出願後に、調査	のために、こ	の国際調査機関に	提出された		
3.] さらに、i た配列が あった。	配列表又は 出願時に打	は配列表に関連する 是出した配列と同一	るテーブルをす ーである旨、ご	是出した場合に、比 又は、出願時の開え	出願後に提出した 示を超える事項を	配列若しくは 含まない旨の	追加して提出し 陳述書の提出が
4.	補足意見:						•	!
							·	•
		,						
	•							•
	•	•	•	a a				
	-	•			•	·		
				-				
						•		
	,			•				
			•			•		
								. •
i i			•			`		
			•			,		

第V柳 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、 それを裏付る文献及び説明					
1. 見解					
新規性(N)	請求の範囲	5, 6, 10, 12, 16, 17 1-4, 7-9, 11, 13-15			
進歩性(IS)	請求の範囲	1-17			
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1-17	有 無		

2. 文献及び説明

請求項1-17について/

文献1: JP 2001-143903 A (松下電器産業株式会社) 200

1.05.25,全文,全図

文献2: JP 9-260113 A (松下電器産業株式会社) 1997.1

0.03,全文,全図

文献3: JP 2003-68502 A (太陽社電気株式会社) 2003. 0

3.07,全文,全図

文献4: JP 10-125503 A (太陽社電気株式会社) 1998. 0

5. 15, 全文, 全図

文献5: JP 4-165602 A (ローム株式会社) 1992.06.1

1,全文,全図

文献 6: JP 2001-167902 A (松下電器産業株式会社) 200

1.06.22,全文,全図

文献1に記載された抵抗器において両端に設けた電極間に共通電極を設けること (文献2参照)、抵抗体の上に電極を重ねること(文献3参照)、回路板と対向す る絶縁基板面を平滑にすること(文献4参照)、回路素子の形成面以外を回路板に 対向させること(文献5参照)、分割をダイシングで行うこと(文献6参照)はそれぞれ当業者が容易になし得たことと認められ、基板寸法を特定することは適宜設 計変更しうる事項に過ぎない。